

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

mRNA for Healthのグローバルリーダーとなることを目指し、複数のパイプラインを同時並行でインキュベート。

2 中長期の経営戦略

1. 臨床試験の加速化

TUG1 ASOの治験加速化でPOC確立。オーストラリアでのRUNX1 mRNA治験開始で臨床データ取得し、製薬企業とのアライアンス推進。

2. mRNAシーズの探索拡充

企業・バイオベンチャー・アカデミアからシーズを導入。mRNAエンコード抗体、ゲノム編集、CAR-T療法など新規プロジェクト展開。

3. DDS技術の最適化

ポリマーDDS技術の核酸創薬応用を加速。疾患とmodalityに応じてポリマーとLNPを使い分け、パイプラインに応用またはプラットフォーム技術としてアライアンス検討。

3 対処すべき課題

① 事業黒字化の実現

- ・ 2023年1月から開始したmRNA創薬ビジネスは現段階で継続的事業利益未計上。
- ・ アセットの継続的導出とマイルストーン・ロイヤリティ収入により早期黒字化を目標。
- ・ 受託型事業の拡大で収益増加を目指す。

② 開発候補品の確保と導出

- ・ 製薬企業ニーズに沿ったアセット選択で導出確率向上。
- ・ 補助金・共同開発の活用で開発コスト削減。
- ・ 複数アセットの継続的導出体制構築。

③ 後期臨床開発前の導出モデル

- ・ 大規模臨床開発が必要な段階に入る前に製薬企業へライセンスアウト。
- ・ 事業転換から2年経過し、POC確立の加速化が重要。

面接で使えるポイント

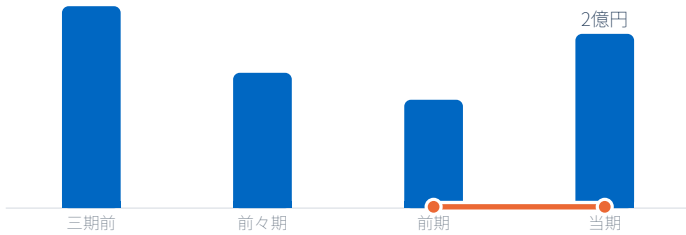
- ・ 2023年1月転換の新事業モデルで、後期臨床開発前導出による効率的収益化を実現する企業。
- ・ TUG1 ASO、RUNX1 mRNAなど複数パイプラインを並行開発し、POC確立を加速化。
- ・ ナノキャリア時代のポリマーDDS技術をmRNA創薬に応用し、プラットフォーム化を目指す。

NANOホールディングス株式会社

医薬品 | グロース（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 4571

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
2億円

営業利益率
▲553.6%

財務健康度
39点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 46.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
881万円
医薬品内 34位/80社

平均年齢
52.3歳
医薬品内 5位/80社

平均勤続
5.5年
医薬品内 57位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: NANOホールディングス[4571]: (訂正) 「戦略子会社N

NANOホールディングス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

